

令和4年度 当初予算

市議会2月定例会で、令和4年度当初予算が原案どおり可決されました。一般会計は、437億円。前年度と比較し39億700万円、9.8%増となりました。第2次総合計画後期基本計画のスタートの年です。総合計画に基づくまちづくりを着実に推進するとともに、持続可能な財政運営を念頭に置き、創意工夫のもと、必要な施策に対して重点的に予算配分しています。 〇財政課 ☎ 36-7123

施政方針

4月から、第2次島田市総合計画における後半4年間の始まりでした。

第1次総合計画から引き継ぐ「ここにしかない『個性』を大切に、どこよりも『元氣』に、ともに支え合い『協働』して」という基本理念はそのままに、時代の潮流や市民意識の変化を柔軟に捉えた後期基本計画は、「笑顔あふれる 安心の

まち 島田」という変わらぬ目的地を目指し、進んでいくための新しいまちづくりの羅針盤です。

絶え間なく押し寄せるさまざまな変化に動じず、揺らぐことない理念と、柔軟な発想で変化させていく施策を両輪として、現在と未来を見据えながらやるべきことを勇気をもって判断し、実施していきます。

まちづくりの羅針盤 ④ 後期基本計画



安全・安心で、楽しく暮らせるまちを創る

暮らし

新型コロナウイルス感染症の対策や南海トラフ巨大地震など、あらゆる危機への備えを充実させ、市民の安全・安心を確保します。

人口減少は当面続いていくという現実を受け止めた上で、生活に必要なサービス施設や居住の立地を、拠点に集約する「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくりを進

めていきます。また、中山間地域での豊かな暮らしを応援するため、川根地域に集落支援員を配置し、地域の課題を地域の皆さんと考え、解決していく仕組みを整えます。

市役所新庁舎については、令和5年夏頃の完成を目指して、建設を進めていきます。



未来につながるしごとを創る

産業

市内企業者数の99%を占める中小企業の成長が、まちの活力になります。新たな業態転換へのチャレンジを応援するほか、産業支援センター「おびサポ」による創業や販路開拓の支援などにより、中小企業の成長の底上げを図っていきます。

昨年末に新たな企業の進出が決定した、新東名島田金谷インターチェンジ周辺においては、引き続き、企業誘致とア

クセス道路などの基盤整備を進め、産業の集積を図っていきます。

アフターコロナ社会において、観光は大きな成長分野です。蓬萊橋、川越遺跡、川根温泉、KADODE OOI GAWA などに加え、3月には旧湯日小学校跡地に「Glamping & Port 結」がオープンしました。島田の魅力を多くの人に楽しんでいただき、さらなる交流人口の拡大につなげていきます。



人口減少・少子超高齢社会で活躍できるひとづくり

ひと

持続可能な活力あるまちであり続けるためには、今まで以上に協働のまちづくりの輪を広げていく必要があります。市内5つの高等学校との連携をさらに強化し、高校生の主体的な思いを大切にされた地域活動の支援に力を入れ、郷土愛を育んでいきます。

市が特に力を入れている子育て・教育については、母子保

健サービスにおける通知・申請・相談の機能を24時間、スマートフォンなどで利用できる子育て支援プラットフォーム「しまいく+」の運用が始まりました。

また、性別・年齢・国籍などに関わらず、一人一人が尊重され、互いに認め合い協力しながら、共に暮らし、共に活躍できるまちづくりを進めます。

2 教育 Education

子育て・教育環境が充実するまちづくり



新校舎と体育館の完成イメージ(島田第一小)

○認定こども園等施設型給付費	15億7,492万円
○島田第一小学校改築事業	7億7,566万円
○民間保育所等助成事業	2億4,341万円
○伊太小学校屋内運動場耐震化事業	1億5,706万円
○島田第四小学校改築事業	1億1,500万円
◎民間保育所施設整備助成事業	4,720万円
◎小学校再編事業	202万円
○ネウボラ推進事業	128万円

令和4年度 主要事業

7 Seven Themes 7つのテーマ

令和4年度当初予算に計上した主要事業について、島田市総合計画で取り組む7つのテーマに分けて紹介します。

◎は、令和4年度の新規事業です。

3 経済 Economy

地域経済を力強くリードするまちづくり



空き家を活用したシェアスペース

○企業立地促進事業費補助金	1億6,160万円
○島田市観光協会補助金	8,968万円
◎地域木材利用促進事業	2,529万円
○がんばる認定農業者支援事業	2,003万円
○サテライトオフィス等進出事業費補助金	800万円
○ビジネスニーズ参入支援事業費補助金	500万円
○遊休不動産リノベーション応援事業	500万円
◎産業ポータルサイト運営事業	352万円

1 安全 Safety

安全で健やかに暮らせるまちづくり



地域防災訓練(初倉中)

○消防救急広域事務委託費	10億6,945万円
○新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億9,747万円
○養護老人ホームぎんもくせい管理運営経費	1億2,787万円
○消防団員(報酬)	1億1,594万円
○防災訓練経費	791万円
○水防対策事業	743万円
○子どもの学習・生活支援事業	259万円
◎川根老人憩いの家代替施設使用料補助金	37万円

6 基盤 Infrastructure

ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり



進出企業が決定した堤間地区工業用地

○ふじのくにフロンティア推進区域整備事業	3億2,112万円
○谷口中河線改良事業	2億5,826万円
○道悦旭町線改良事業	9,000万円
○島竹下線改良事業	8,570万円
○横井御飯屋線改良事業	8,100万円
○河川改修事業	7,612万円
○空港周辺プロジェクト推進事業	977万円
○都市計画決定等事務費	660万円

4 環境 Environment

住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり



コミュニティバス(JR 島田駅北口)

○ガス化溶融施設管理運営経費	9億7,847万円
○コミュニティバス運行管理経費	2億6,127万円
○リサイクル事業	2億2,062万円
○森林環境整備促進事業	2,900万円
○住宅用省エネルギー設備設置促進事業	1,300万円
○中古住宅活用促進事業	1,000万円
○防犯対策事業	843万円
◎地域公共交通計画策定事業	700万円

7 経営 Management

人口減少社会に挑戦する経営改革



建設工事が進む市役所新庁舎

○市役所新庁舎整備事業	43億7,343万円
○デジタル変革推進事業	5,842万円
○デジタルマーケティング施策推進事業	3,768万円
○自治会活動支援事業	3,697万円
◎文書管理システム導入事業	2,994万円
○旧金谷庁舎跡地利活用事業	2,028万円
○自動車運行管理費	1,491万円
○協働のまちづくり推進事業	578万円

5 文化 Culture

歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり



緑茶化デザインで装飾された南北自由通路(島田駅)

○文化施設管理運営経費	1億5,476万円
○諏訪原城跡整備事業	1,146万円
○シティプロモーション推進事業	1,112万円
○地域おこし協力隊派遣事業	909万円
○博物館展示経費	840万円
◎プラザおおるい施設改修事業	811万円
◎首都圏しまだネットワーク形成事業	600万円
◎シンガポール卓球合宿受入経費	29万円

令和4年度 一般会計当初予算 437 億円

市の会計の構成

島田市の会計は、一般会計・特別会計・企業会計で構成されています。

一般会計は、まちづくりや福祉、産業経済・教育など、市の全般的な事業を行うための会計です。

特別会計は、保険料など特定の収入で事業を行う会計で、事業の収支を明確にするため、一般会計と経理を区分しています。現在、国民健康保険事業などの6つの特別会計を設けています。

企業会計は、事業収入により公共の利益を目的に経営する事業の会計で、現在は水道事業・病院事業・公共下水道事業の3つの企業会計を設けています。

一般会計当初予算

歳出

土木費は、幹線道路整備事業費の減などにより、前年度比6億7036万円(15・8%)の減額となっています。

また、商工費は、企業立地促進事業費補助金の減などにより、前年度比1億3649万円(14・5%)の減額となっています。

一方、総務費は、市役所新庁舎整備事業費の増などにより、前年度比42億1382万円(96・0%)の増額となっています。

会計別予算額

会計名	予算額	前年度対比
I 一般会計	437 億円	9.8%
II 特別会計	210 億 6,244 万円	2.0%
国民健康保険事業	93 億 5,863 万円	0.6%
土地取得事業	7 億 7,475 万円	2.0%
休日急患診療事業	5,980 万円	△10.3%
介護保険事業	93 億 8,746 万円	2.6%
介護サービス事業	7,628 万円	△10.9%
後期高齢者医療事業	14 億 552 万円	9.0%
III 企業会計	208 億 5,865 万円	△16.2%
水道事業	20 億 748 万円	△8.2%
病院事業	173 億 9,238 万円	△17.9%
公共下水道事業	14 億 5,879 万円	△2.8%
合 計	856 億 2,109 万円	0.3%

歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
消費的経費 (62.5%)	人件費	14.7%
	物件費	18.6%
	扶助費	19.5%
	補助費等	9.4%
	維持補修費	0.3%
投資的経費 (19.2%)	普通建設事業費	19.1%
	災害復旧事業費	0.1%
その他の経費 (18.1%)	公債費	10.2%
	繰出金	5.7%
	投資及び出資金等	2.2%
予備費 (0.2%)	-	0.2%

■市債年度末残高見込額

区分	残高見込額		増減率
	R3 年度末	R4 年度末	
一般会計	429 億 8,873 万円	451 億 2,427 万円	5.0%
水道事業	32 億 7,550 万円	33 億 1,898 万円	1.3%
病院事業	161 億 1,126 万円	160 億 6,288 万円	△0.3%
公共下水道事業	33 億 4,776 万円	31 億 9,185 万円	△4.7%
合 計	657 億 2,325 万円	676 億 9,798 万円	3.0%

※歳出、歳入および市債年度末残高の数値は、
端数処理で調整しています。

市民 1 人当たりの
歳出予算はおおよそ

45万1,073円

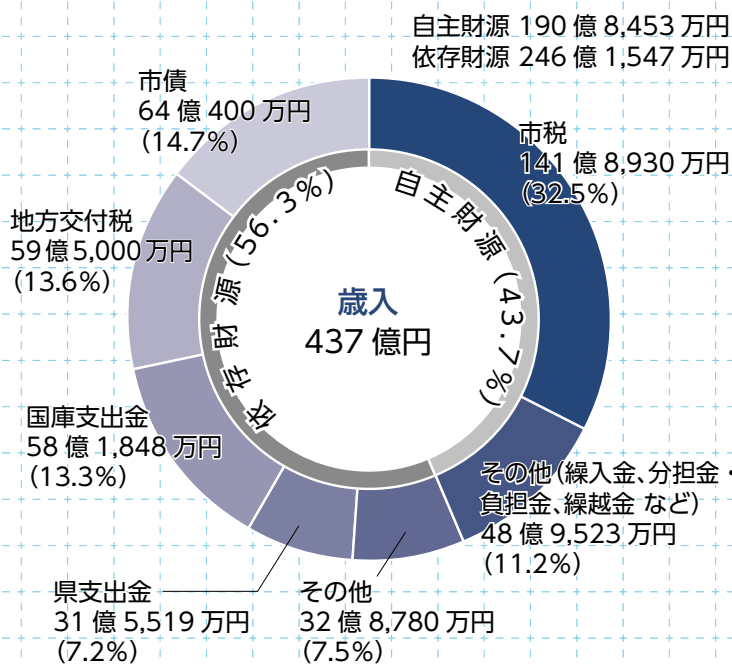
※令和 4 年 2 月 28 日現在の人口 9 万 6,880 人で算出。

【歳入】
自主財源では、前年度比で見ると、財産収入が不動産売却収入の増などにより 1 億 503.2 万円（95・8％）の増額となりました。また、繰入金
が職員退職手当基金繰入金の増などにより 5 億 676.1 万円（31・7％）の増額となりました。

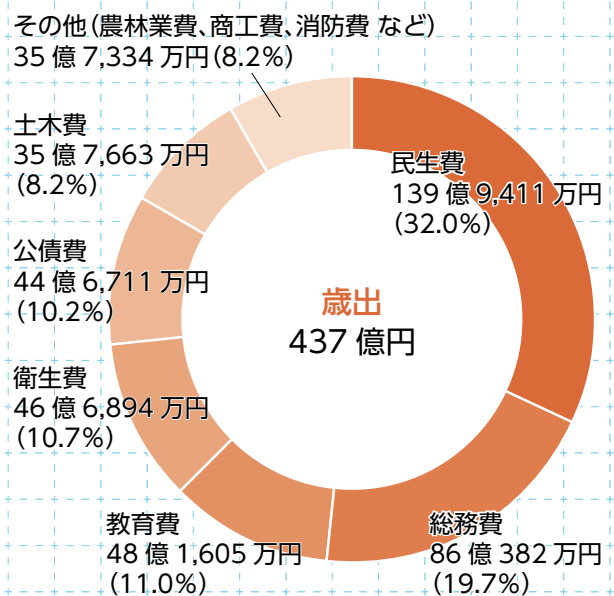
一方、使用料および手数料が一般廃棄物処理手数料の減などにより 153.5 万円（37％）の減額となり、自主財源比率は前年度比 1.2 ポイント低下しました。

依存財源では、市債が総務債、教育債などの借入の増により 18 億 383.0 万円（40・3％）の増額となりました。また、地方交付税が 5 億 500.0 万円（10・2％）の増額となりました。

歳入の内訳（構成比：％）



歳出の内訳（構成比：％）



【歳入の部】
市税／市民税など市に納められた税金
繰入金／基金の取り崩しや他会計から入れるお金
分担金・負担金／保育所入園者の負担金など
国庫（県）支出金／国（県）からの補助金、負担金など
地方交付税／市町村の実状に合わせて国から交付されるもの
市債／市が借り入れるお金

【歳出の部】（目的別分類）
民生費／児童、高齢者、障害者福祉など
衛生費／保健事業やごみ処理など
教育費／学校教育や社会教育など
総務費／電算システムや戸籍・住民登録、庁舎の維持管理など
土木費／道路・河川・公園の整備
市営住宅の管理など
公債費／市債の返済金と利子の支払い

【歳出の部】（性質別分類）
物件費／施設の保守管理および一般事務
扶助費／生活扶助、医療扶助など
普通建設事業費／道路の新設改良や施設の新築・増築など
繰出金／一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など

用語の解説